

北東アジアの鳴動：

朝鮮半島，中露国境地域，蒙中露辺境

DAY1 2019年1月26日(土)

14:00~14:15 開会の辞

遠藤 俊郎(富山大学長)

松野 周治(北東アジア学会長)

堀江 典生(富山大学研究推進機構極東地域研究センター長)

14:15~16:15 セッション1 ロシアと朝鮮半島問題 (学会連携企画)

三村 光弘(公益財団法人環日本海経済研究所)：朝鮮半島問題と周辺国の関与

加藤 美保子(北海道大学)：プーチン時代の対北朝鮮政策：軌跡と展望

堀江 典生(富山大学)：ロシアの東方政策と朝鮮半島問題

座長：新井 洋史(公益財団法人環日本海経済研究所)

討論：福原 裕二(島根県立大学) 堀内 賢志(静岡県立大学) 松野 周治(立命館大学)

16:30~18:30 セッション2 朝鮮半島問題に対する多層的視座(北大・富山大拠点企画)

福原 裕二(島根県立大学)：北朝鮮の『安全の保障』から見た非核化問題

池 直美(北海道大学)：『故郷は遠きにありて思うもの』：脱北者を取り巻く現状と課題

柳 学洙(東京大学)：北朝鮮経済の『市場化』：現状と今後の展望

座長：馬 駿(富山大学)

討論：三村 光弘(公益財団法人環日本海経済研究所) 天野 尚樹(山形大学) 金 奉吉(富山大学)

DAY2 2019年1月27日(日)

10:00~12:00 セッション3 中露国境地域の新たな可能性(北大拠点企画)

岩下 明裕(北海道大学)：ポードースタディーズにおける中露国境地域の意味

中村 正人(『地球の歩き方』編集者)：ポードーツーリズム：中国東北地方 21 の国境物語

朱 永浩(福島大学)：中露国境貿易の過去と現在

座長：田畑 伸一郎(北海道大学)

討論：堀江 典生(富山大学) 松野 周治(立命館大学) 高屋 和子(立命館大学)

13:00~15:00 セッション4 蒙中露辺境における多民族共生(東北大学拠点企画)

広川 佐保(新潟大学)：近代モンゴルに暮らした漢人の歴史：「旅蒙商」から「労働者」そして「蒙古帰僑」へ

サヴェリエフ イゴリ(名古屋大学)：第一次世界大戦期の在露中国人の越境的空間

藤原 克美(大阪大学)：満洲国における百貨店の役割

橋 誠(下関市立大学)：モンゴル国における関税をめぐる露中の「交渉」：20世紀初頭の外交と多民族共生

座長：堀江 典生(富山大学)

討論：岡 洋樹(東北大学)

15:00 閉会の辞

開催：2019年1月26日(土)・27日(日)

場所：富山大学経済学部7階大会議室

主催：人間文化研究機構基幹研究プロジェクト

「北東アジア地域研究」富山大学・北海道大学・東北大学拠点

共催：北東アジア学会

お問合せ：horie@eco.u-toyama.ac.jp



路面電車の利用の場合
富山駅より路面電車に乗り、「大学前」駅で下車し、進行方向に
向かって歩き、正門よりお入りください